

平成28年度 第8回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成29年2月22日（水）午後3時30分～午後5時

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 谷村萬吉、西川功美、平井育子、谷口芳幸、大家繁博、谷本由美子、西村繁榮、岸本美鈴、中村史生、亀谷幸子、福山裕正 以上11名（敬称略）

関係課 なし

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、坂本産業建設課長、谷口市民福祉課長、中村地域振興課課長補佐、金谷地域振興課主幹

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題・報告事項

（1）地域の課題・問題点について

（事務局 「各地域課題の現状、取り組み状況」及び、「今後の課題・問題点について」資料に基づき説明）

【支所庁舎整備について】

（会長）

庁舎整備についても今後の課題と思うが、どのように進めるのか。

（事務局）

説明会で出た意見やこの会議で出た意見を基に、庁内関係各課で会議を行い、設計に向けたたたき台を検討しているところです。ただ、耐震改修と図書館移転改修を合わせて実施するため、具体的な部分については設計をしてみないと可能かどうか分からない部分があります。

(委員 1)

本庁舎の整備では、広く意見を聞いたうえでレイアウト案が出来たところで、それについて又意見を聞いて進めていた。支所は住民の皆さんが利用しやすい場所となることが必要なので、雰囲気も含めて用瀬町らしい建物となるよう住民も意見を出せたらいいと思う。

(委員 2)

図書館が移転した後、歴史資料館はどのように運営するのか。

(事務局)

現在の歴史資料館の展示室や収納庫を考えると、そのまま移転することはスペース的に難しいです。今後歴史資料館をどのように運営するのか、文化財課で検討をすすめております。

(会長)

庁舎の整備について、具体的な内容についてもこの会議で意見を聞きながら進めたほうがいいのではないかと。整備の具体的なイメージを一度示していただきたい。

【地域内情報伝達設備の整備について】

(委員 3)

地域内情報伝達設備の整備については、自治会長会でも話が出ているが、どのような制度となるのか。

(会長)

整備を検討する上で、地域全体で考えることが大事である。国府地域はCATV方式で運用しているとのことだが、CATV加入率が低い中でどのようにしているのか研究する必要がある。

(委員 1)

突然の災害の時に細かい情報が各家庭にどのように入るかということが問題だと思う。

(事務局)

防災行政無線については、デジタル化以降は屋外スピーカでの放送となります。各戸への放送については、どのような伝達方法とするのか地域で検討していただくこととなります。

用瀬地域では各集落に有線放送がありますが、地域全体での放送のために整備すると考えると、今回助成制度の中でお示した案の中ではCATV方式になるのではと思います。ただ用瀬地域はCATV加入率が約6割なので、未加入者への対応が課題となるのではと思います。

整備に対する助成内容が決まりましたら改めて情報提供いたしますので、各自治会等で検討していただければと思います。

(委員 3)

検討を進めていくうえでは、現在の情報伝達内容を維持することが大きな目的となる。

助成内容が決まれば自治会が主体となって検討することになるが、地域振興会議においてもご意見をいただいたほうがいいと思う。

(事務局)

それでは、次期地域振興会議における今後の課題・問題点として、現在の案について1番目に「支所庁舎の改修について」、2番目に「防災行政無線並びに地域内情報伝達設備について」を追加して、7項目を設定してよろしいか。

(一同「異議なし。」の声)

(2) その他

特になし

4 地域振興への意見・提言 (委員発表)

福山委員による発表

- ・鳥取へUターンしてからの10年の歩みについて
- ・これからの提言について

5 各課報告

事務局 (資料などで説明)

地域振興課 行事予定について説明
産業建設課 除雪対応について報告

6 閉 会